

Hokkaido Parquet

木の床のメンテナンス

[フローリング]

Hardwood Floor Speciality

 **北海道パーケット工業株式会社**

本社・工場 〒049-0101 北海道北斗市追分 5-6-20 TEL.0138(49) 5871
東京支店 〒166-0012 東京都杉並区和田3-32-7 TEL.03(3313) 4181
大阪支店 〒533-0013 大阪市東淀川区豊里5-28-3 TEL.06(6327) 1231
仙台営業所 〒981-0932 仙台市青葉区木町9-5 TEL.022(219) 3621
水戸営業所 〒310-0852 水戸市笠原町1312-1 TEL.029(305) 0311
札幌営業所 〒001-0035 札幌市北区北35条西10-1-3 TEL.011(746) 0711
九州営業所 〒802-0833 北九州市小倉南区上石田2-4-40 TEL.093(965) 8521
www.parquet.co.jp

MAINTENANCE NOTE

水拭き厳禁!

※木の床(フローリング)は水拭き厳禁です。

木材にとって水は大敵です。床材表面は塗装されていますので、表面から水などの浸入は防ぎますが、継ぎ目は塗装されていないので継ぎ目から水や洗浄剤等が浸入し、次のトラブルの原因となる事があります。

床が反る
突き上げる
床鳴りが発生する
床がふくれる
変色する
腐食する



ワックス不用!

※ワックス塗布は、極力しないで下さい。

フローリングの床材表面はUVセラミック塗装されています。その為塗膜とワックスが密着しない事があり、トラブル発生の原因となります。またワックスを完全に落とすには、剥離材(強アルカリ)と水を使い、洗浄作業するのが一般的ですが、木質フローリングに与えるダメージは膨大です。現場仕上げ塗料はたくさんありますが、工場塗装よりも平滑に強く仕上げることができません。そのままお使い下さい。

ワックスの粉化現象
(パウダリング現象)
光沢や皮膜強度の低下(仕上り状態の不良)
ワックス剥離作業により床材の塗膜が破壊する
床がふくれる
変色する



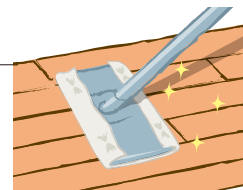
○フローリング豆知識○

木質床材は、"静電気が起きない"という大きな長所があります。ほかの素材に比べ掃除機、モップ等のドライクリーニングの効果が大きいといえます。北海道パーケットの提案するフローリングは無垢ひき板を採用したホンモノの木質フローリングです。定期的なメンテナンスを行うことで、永くご使用できます。



1. 日常のお手入れは

科学雑巾や乾いた雑巾で乾拭きして下さい。



2. 汚れが落ちにくい場合は

濡れ雑巾で汚れを除去し、その後必ず乾いた雑巾で水分をしっかりと拭き取って下さい。



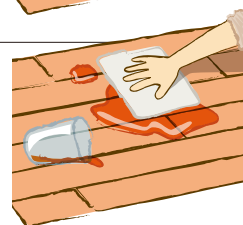
3. ひどい汚れの時は

中性洗剤で汚れを取り除き、その後水拭きし、すぐ乾いた雑巾で、水気を十分拭き取って下さい。



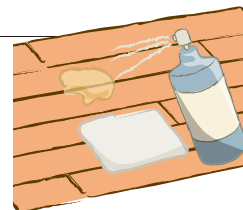
4. ジュース清涼飲料水による汚れは

ジュース清涼飲料水を零れたまま放置するとべたつき、ホコリ等が付着して、仕上げ塗膜、さらには床材まで傷めることとなります。水拭き、又は中性洗剤で汚れを取り除き、すぐ硬く絞った雑巾等ですぐに拭き取って下さい。



5. チューインガムや食べ物の付着

塗装面を傷つけないように、まずペティナイフのようなもので、丁寧に取り除き、残った汚れは市販されているスプレークリーナー等で完全に除去し、その後上記3の作業を行って下さい。汚れを取り除きその後すぐ硬く絞った雑巾等ですぐに拭き取って下さい。



6. マジックや絵の具などの付着

塗料用シンナーを布に染み込ませて拭き取って下さい。ラッカシンナーなど溶解性の強い溶剤は塗膜を傷める恐れがあるので使用しないで下さい。汚れを取り除きすぐ硬く絞った雑巾等ですぐに拭き取って下さい。



7. 水分の持ち込みの防止

各出入り口に、足拭きマットや靴拭きマットを敷くことで、シャワー室や洗面所などの外部からの水分持ち込みを防止して下さい。

